

March 16, 2020

【前日の為替概況】ドル円、ダウ平均過去最大の上昇を受けて 108.50 円まで上昇

13日のニューヨーク外国為替市場でドル円は大幅に続伸。終値は108.00円と前営業日NY終値(104.64円)と比べて3円36銭程度のドル高水準。ダウ平均が前日の過去最大の下げ幅(-2352ドル)から、過去最大の上げ幅(+1985ドル)を記録したことで、投資家の過度なリスク回避姿勢が和らぎ円を売る動きが広がり、ドル円は円安とドル高の両方の様相が強まったことで108.50円まで上昇した。

トランプ米大統領は、新型コロナ対応で非常事態を宣言した。最大500億ドルの連邦政府予算を活用し、検査や治療の態勢を強化する。米10年債利回りが一時1%台を回復したこともドルの支援材料。

ユーロドルは4日続落。終値は1.1107ドルと前営業日NY終値(1.1185ドル)と比べて0.0078ドル程度のユーロ安水準。米連邦準備理事会(FRB)や中国人民銀行、ノルウェー中銀など各国中銀による金融緩和で欧州株相場は大幅に反発して始まったものの、終盤失速。株式市場は依然として不安定な値動きが続き、債券や金などのリスク資産が売られる中、「金融市場では最も流動性の高い基軸通貨ドルに買いが入った」との指摘があった。トランプ米大統領の国家非常事態宣言を受けて1.1055ドルまで値を下げた。

ユーロ円は3営業日ぶりに大幅反発。終値は119.95円と前営業日NY終値(117.04円)と比べて2円91銭程度のユーロ高水準。米国株が過去最大の上昇幅となったことで、120.32円まで円安が進んだ。

カナダドル円はしっかり。米国株の大幅高と原油先物価格の上昇で産油国通貨とされるカナダドルには買いが続いた。全般円安が進んだことも相場の押し上げ要因となり、78.39円まで上値を伸ばした。

【本日の東京為替見通し】ドル円、FRBの緊急利下げで軟調推移か

本日の東京市場のドル円は、米連邦準備理事会(FRB)が緊急米連邦公開市場委員会(FOMC)を開催し、フェデラルファンド(FF)金利の誘導目標を1.00-1.25%から0.00-0.25%へ引き下げ、ゼロ金利としたことで軟調推移が予想される。

パウエルFRB議長は、17-18日に開催予定の定例FOMCは開催しない、マイナス金利は適切な政策とは認識しない、と述べており、昨年秋から導入されている「量的緩和の派生措置」としての月600億ドルの米財務省短期証券購入が中・長期債購入へ拡大される量的金融緩和第4弾(7000億ドル)が示唆された。また、18-19日の日銀金融政策決定会合での上場投資信託(ETF)購入枠拡大(6兆円⇒9兆円)や追加緩和観測は、円安・日本株高要因となる。しかし、ロイター通信は、日本の経済政策当局者が、東京五輪中止のリスクを一段と真剣に検討している、と複数の情報源を基に報じており、日本売りのリスク(日本株売り・円売り)も念頭に置くべきか。トランプ米大統領は、新型コロナウイルスへの対応で国家非常事態を宣言し、約500億ドルの連邦政府の支援金提供を可能とし、連邦準備制度理事会(FRB)も1.5兆ドルの流動性供給と370億ドル規模の国債買い入れを実施すると発表した。

2002-2003年のSARSコロナウイルスによるドル円(8%下落)と日経平均株価(18%下落)の下落率と同様の下落率を想定した場合、ドル円は、高値112.23円から103.23円付近、日経平均株価は、高値24115.95円から19775円付近だった。新型コロナウイルスによるこれまでの下落は、ドル円が101.19円までの9.8%下落、日経平均株価は16690.60円までの30.8%下落で、SARSコロナウイルスの下落率を上回り、弱気相場入りの可能性を示唆している。おそらく、東京オリンピックが中止・延期される可能性への警戒感が、日本株への売り圧力を強めているのかもしれない。

パウンドIOC委員は、IOC副会長時代にNBCとの間でオリンピックの放映権(2014-32年:120億ドル)をまとめて代理人的な役割をしているが、5月末が中止・延期の期限と述べている。国際オリンピック委員会(IOC)は、東京オリンピック(7/24-8/9)の大会参加者の安全が深刻に脅かされる事態が勃発した場合、60日前に中止の通告をする権利を有しており、5月24日付近が中止の判断期限となっている。

5月18日には、日本の2020年1-3月期実質GDP1次速報値が発表されるが、新型コロナウイルスの影響で2四半期連続のマイナス成長、日本経済がリセッション(景気後退)に陥る可能性が警戒されている。

バッハIOC会長は、東京オリンピック中止・延期の判断を、新型コロナウイルスのパンデミック(世界的大流行)宣言をしたばかりの世界保健機関(WHO)からの勧告に従うとしたことで、今後の注目ポイントは、新型コロナウイルス感染拡大のピークアウトを受けた終息宣言となる。2003年のSARSコロナウイルスでは、WHOの警告が3月12日、終息宣言は、7月5日だった。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

○08:50 ◎ 1月機械受注（予想：船舶・電力除く民需 前月比▲0.8%／前年比▲1.0%）

<海外>

○09:01 ◇ 3月ライトムーブ英住宅価格

○11:00 ◎ 2月中国鉱工業生産（予想：前年比▲3.0%）

○11:00 ◎ 2月中国小売売上高（予想：前年比▲1.7%）

○15:30 ◎ 2月インド卸売物価指数（WPI、予想：前年比2.65%）

○16:30 ◇ 2月スイス生産者輸入価格

○17:00 ◇ 1-3月期南アフリカ経済研究所（BER）消費者信頼感指数（予想：▲10）

○21:30 ◎ 3月米ニューヨーク連銀製造業景気指数（予想：5.1）

○17日 05:00 ◎ 1月対米証券投資動向

○ユーロ圏財務相会合（ブリュッセル）

○メキシコ（ベニート・フアレス生誕日）、休場

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

【前日までの要人発言】

13 日 12:19 武内財務官

「政府・日銀は必要なら一体で行動」

「より一層緊張感を持って市場を注視」

13 日 17:37 レーン ECB 専務理事兼チーフ・エコノミスト

「追加利下げの選択肢は、必要に応じて残されている」

13 日 17:40 日銀

「今後も市場動向を踏まえて、必要に応じて追加的な長期
国債買い入れを実施する」

13 日 19:54 ビスコ伊中銀総裁

「欧州中央銀行(ECB)は、必要ならば資産購入を前倒し
で実施できる」

13 日 20:41 ショルツ独財務相

「ドイツは、経済的衝撃の緩和のため巨額の財政支出を行
う」

「企業支援の信用プログラムに制限を設けない」

13 日 21:26 欧州連合(EU)

「財政刺激を可能とする危機条項を発動する用意がある」

13 日 22:16 ムニューシン米財務長官

「新型コロナウイルスの問題は短期的な問題。おそらく 2-3
カ月」

「大統領は大規模刺激策を予定」

「流動性を高めるためにさらに取り組む」

13 日 22:54 トランプ米大統領

「FOMC は追加利下げをするべき」

14 日 00:13

「日本時間 14 日 4 時に新型コロナウイルスについて会見す
る」

14 日 04:34

「新型コロナウイルス対応で国家非常事態を宣言」

「全ての連邦学生ローンの金利支払いを免除する」

「石油を大規模購入し戦略備蓄を拡大する」

「英国でも感染者が増えており、英国からの渡航禁止も今
後はあり得る」

「自分に新型コロナウイルスの症状はない」

16 日 06:28

「FRB の緊急利下げには非常に満足している」

14 日 00:30 フランス大統領府

「G7 首脳は 16 日にビデオ会合を実施、新型コロナウイルスの協調
対策を協議」

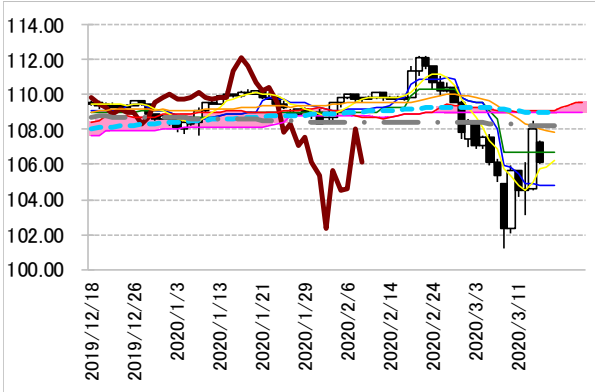
14 日 01:38 トルドー加首相

「カナダはまもなく大規模刺激策を発表する」

「G7 首脳は世界的な協調対応で合意した」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕



<ドル円=3/13 高値を抵抗に戻り売りスタンス>

太陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。毛抜き天井（112.23円・112.19円）から101.19円まで下落後、61.8%戻しで108.50円まで反発したものの、雲に届かなかったことで、反落の可能性が示唆されている。

本日は、3月13日高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

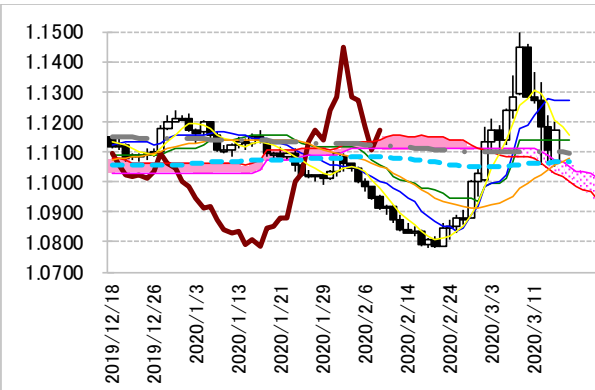
レジスタンス2 108.97(日足一目均衡表・雲の下限)

レジスタンス1 108.50(3/13 高値)

前日終値 108.00

サポート1 104.85(日足一目均衡表・基準線)

サポート2 103.09(3/12 安値)



<ユーロドル=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

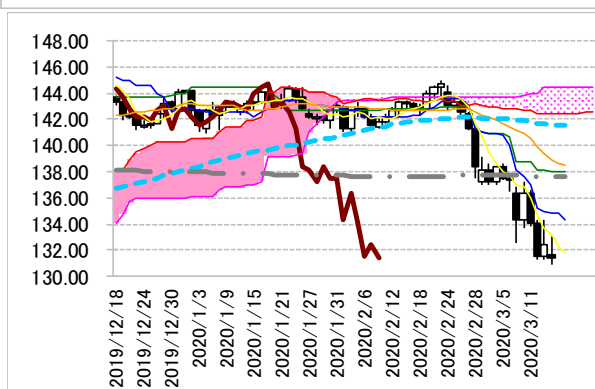
陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。しかし、高値圏での抱き線で反落しており、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1 1.1272(日足一目均衡表・転換線)

前日終値 1.1107

サポート1 1.1074(日足一目均衡表・雲の上限)



<ポンド円=3/13 高値を抵抗に戻り売りスタンス>

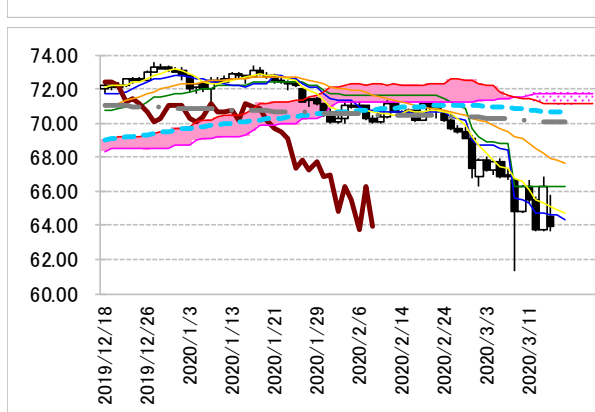
陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。底値圏での孕み線も上ヒゲが長いことで反落の可能性が示唆されている。

本日は、3月13日高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1 134.32(3/13 高値)

前日終値 132.47

サポート1 129.92(2019/9/5 安値)



<NZドル円=3/13 高値を抵抗に戻り売りスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。

本日は、3月13日の高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1 66.85(3/13 高値)

前日終値 66.33

サポート1 61.30(3/9 安値)

